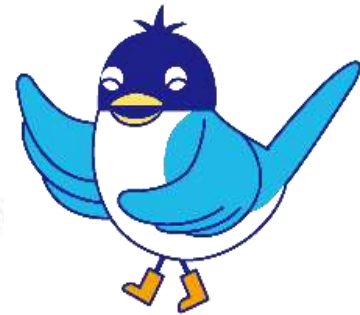


コロナ禍で生まれた “つながり”と“ひろがり”



～三宿・池尻まちこま会で
地域でできることを住民と共に考える～

池尻まちづくりセンター

池尻あんしんすこやかセンター

世田谷区社会福祉協議会 池尻地区事務局

池尻児童館



管内地図





地区の概要・特色

★地区の全体的特徴

・池尻地区は人口約2万4千人、28地区の中でも高齢化率17.27%と低いほうであり、都心に近いこともあり働き盛りの世代が多い。

【地勢】区の東側に位置し、北部に北沢緑道、烏山緑道があり、また南部には世田谷公園があり緑に恵まれ休日には区内外からの親子連れなど多くの人で賑わいを見せている。

【交通】鉄道は最寄り駅として東急田園都市線池尻大橋駅があり、渋谷など都心方面、また神奈川方面への利便性は高い。道路は地区の中央に国道246号線が、北部には淡島通りが東西に走り渋谷と西方を掬う路線バスが運行しており全体して交通の利便状況は良好である。南北を結ぶ幹線道路は三宿から淡島を結ぶ都市計画道路(補助26号線)の整備により交通利便性に加え防災性向上に大きく寄与している。

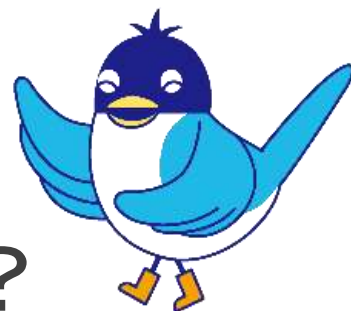


地区の概要・特色

【医療】地区内に総合病院が2つあり、自衛隊中央病院は診療科目が充実してる他、災害時にも対応できる大病院であり、区外であるが目黒区の三宿病院とも連携関係にある。

【区民利用施設】

まちづくりセンター（区民集会所・図書室併設）、健康増進・交流施設の「せたがやがやがや館」（池尻地区会館、池尻児童館、池尻保育園併設）については、地区の重要な多世代交流施設としての役割を担っている。



『三宿・池尻まちこま会』とは？

- ・住民や関係者が地域の困りごとや課題を情報共有
- ・それぞれの立場でできることから始めてみる
- ・地域で連携し、課題解決に向けて取り組む



四者連携 『三宿・池尻まちこま会』 ができるまで

H23. 1～ あんすこ

【主に高齢者の生活に関連した課題】

H25. 7～ まちセン

【住民生活に密着した話題に】

H25. 9～ 社協

【住民活動団体が参加するように】

R4. 6～児童館

【子ども関係者が参加
多世代・多機関が参画へ】





困りごとは、いっぱい！



遊び場
不足

車いす
通れない

詐欺

交通量
が多い

害虫

近隣ト
ラブル

町会未
加入

信号が
早い

騒音

不法投
棄

買い物
難民

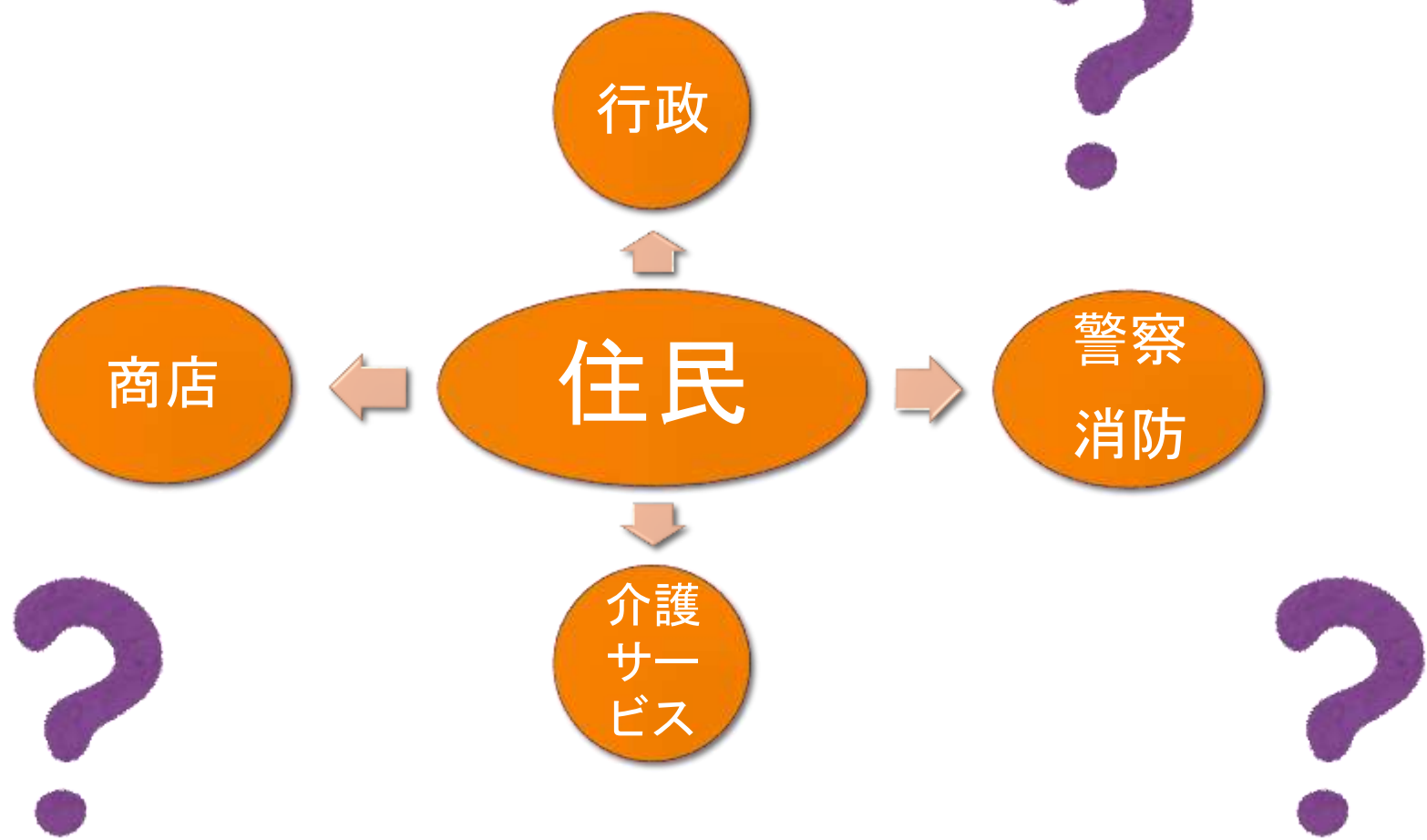
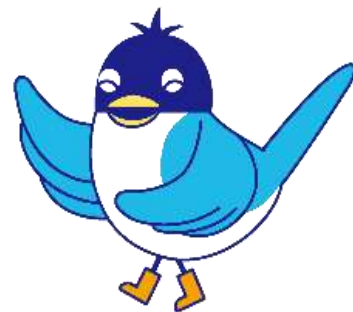
自転車
マナー

惣菜の
量が多
い

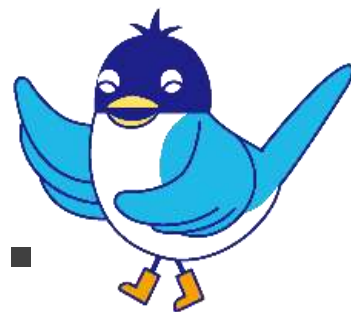
認知症



解決するのは、誰か？



コロナ禍を経て 誰もが共通する困りごとに...



まちこま会で見えてきた 困りごと・取り組み

見えてきた困りごと



こんな取組があったらよいな

多世代交流ができる機会

- ・子どもも大人も地域の様々な方が取り組んでいることを共有できる発表の場
- ・文化祭のような場

情報ツールの活用

- ・苦手な方が情報を得られる仕組み
- ・ICTを活用した繋がり
- ・得意な方が教えてくれたら



まちこま会が つながるきっかけの場に



多様なセクターが
つどう場に

町会学校
行政関係

まちセン

あんすこ 社協

児童館

保育園・幼稚園
学童関係者

社協推進員
サロン
ボランティア

医療福祉
事業者

同じ分野
異なる分野同士
つながるきっかけに





つながる・ひろがる動き

池尻地区社会福祉協議会 × 池尻児童館

まちこま参加
子ども関係団体

つながいが
ネットワークへ

子育て支援
ネットワーク

情報交換

多世代交流事業

大人も子どもも
楽しめるような交流の機会をつくりたい

町会長
住民の想い

想いがひろがりをみせていく

まちなか
作品展
実行委員会

まちなか作品展



～街中(まちなか)で、まちなかまを増やそう～

令和5年2月6日(月)～2月10日(金)開催、計221名が来場

※ボランティア12名、関係職員17名

好きなこと
得意なことを持ち寄り
人とつながろう



今年度も開催します！(令和6年2月6日～11日)
住民によるワークショップも作品展で開催します！



4者連携を通じて 多世代交流が盛んに(池尻児童館の参画)

60周年記念
地域懇談会

60周年
がやがや村
まつり

がやがや村まつり
に向けて

3者も実行委員に加わりました

みちあそび



60周年の壁画絵

つみきづくり



4者連携の課題と展望

統一された地区の情報発信を

4者連携で実施する事業の整理
地区の課題設定と取り組みの明確化